

このコース地図は2020年9月調査に基づいて作成しています。  
風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。  
当コースのお問い合わせ=近鉄 大阪ハイキング係  
☎(06)6775-3566



- 大阪難波駅から近鉄奈良駅まで約35分
- 京都駅から近鉄奈良駅まで約40分
- 近鉄名古屋駅から近鉄奈良駅まで特急約2時間30分(大和八木駅・大和西大寺駅のりかえ)
- バス 近鉄奈良駅から忍辱山(円成寺)まで約30分
- ※バス便が少ないため要確認
- バス時刻のお問い合わせ  
奈良交通お客様サービスセンター ☎(0742)20-3100

**コースのあらまし** バス停前の円成寺で拝観と膝の屈伸運動など。というのもバス道から山道へ入ったとたん、上りに。平坦な道となりやがて茶畑を一望するあたりで小休止。誓多林の集落にさしかかると峠の茶屋はすぐ。後半は石仏と石畳の道。せせらぎの音に疲れもいやされて。植物相も豊富なので四季それぞれの美を味わえそうです。くたびてきたら破石町からバスを利用。  
※逆コースも可能だが全体的に上りとなり、帰りのバス便も少ない。

**柳生街道(滝坂の道)** 春日山と高円山の谷あい、溪流に沿った石畳道です。界わいは、平安時代から鎌倉時代にかけて南都七大寺の僧たちの修行の場で、昼なお暗い樹林のなかに苔むす石仏がたたずみます。江戸時代には、柳生の道場をめざす剣豪たちが往来しました。

**円成寺(忍辱山)** 柳生街道随一の名刹で、草創は平安時代に京都の円成寺を移したともいわれています。現在の堂宇は、応仁の乱(室町時代)の兵火で焼失後に再建されました。仏像はとくに運慶(20歳ごろの作)の大日如来が有名で、表情にみずみずしさが感じられます。庭園は、平安時代のかず少ない遺構です。

**峠の茶屋** 石切峠の近くにある茶店です。家のカモイには、古めかしい鉄砲やヤリが掛けられ、武芸者が飲み代のカタにしたという、神道無念流を図解した武芸帳があります。ちかくの誓多林や大慈仙の集落の名は、インドの聖跡からつけたといわれています。

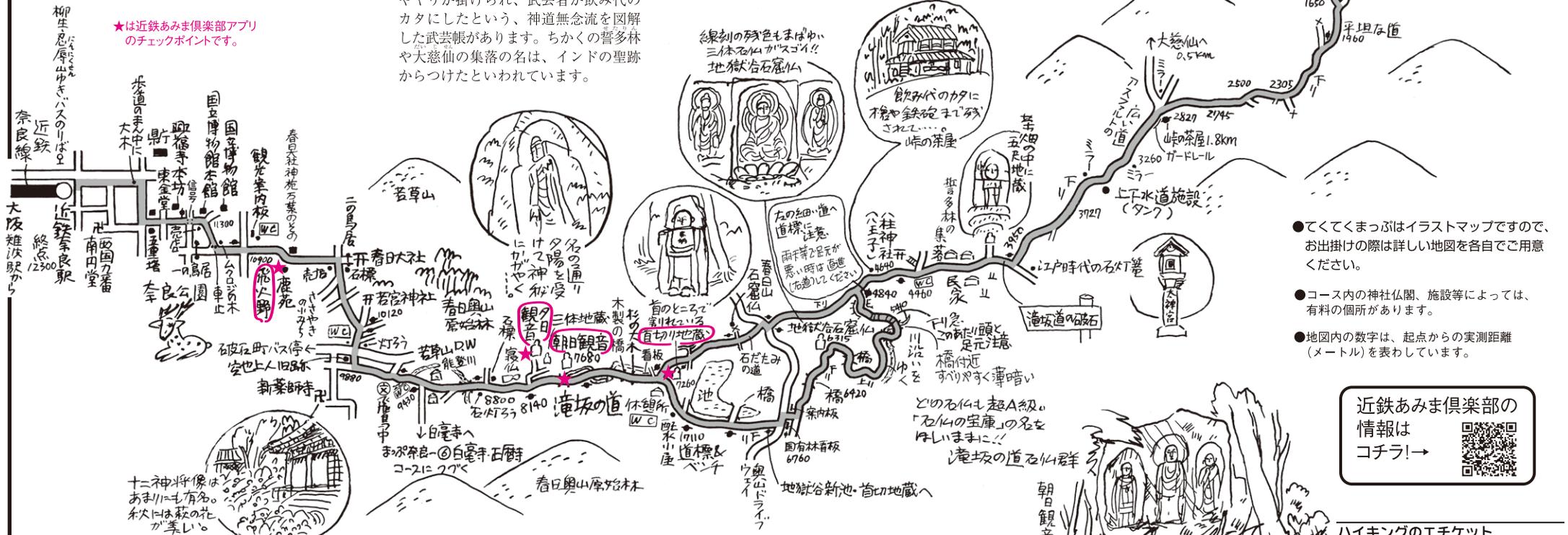
**地獄谷石窟仏(聖人窟)** 石を切り出したあとの洞に線刻したもので、石窟にはえた苔のみどりしと石仏に残る朱が、えもいぬ美しさをみせています。正面中央は、高さ1.4mの廬舎那仏(または釈迦如来とも・奈良時代後期と推定)、左が薬師如来、右は十一面観音(室町時代ごろの追刻)といわれ、右壁には妙見菩薩、左壁には阿弥陀如来と千手観音が刻まれています。これらの石仏は、山伏が岩窟に寝起きして彫刻したとか、大仏殿建立のときに石材採りの石工が彫刻したなどといわれています。

**首切り地蔵** 大木の根がタコ足状に地面にはい出た三差路にあります。刀を入れたような地蔵の首は荒木又右衛門が試し斬りした、という伝説があり古くから街道の目じるしでした。

**朝日観音** 川向いに立つ磨崖仏です。東面して朝日にはえるのでこの名があり、まん中が弥勒、左右が地藏菩薩です。鎌倉中期の文永2年(1265)の銘が刻まれています。

**夕日観音** 街道からすこし入った山の急斜面に立ち、夕日をうけると神々しさがさらに増す石仏です。弥勒信仰がさかんだった鎌倉時代のもので、大日如来が横に刻まれています。ちかくの四方仏の一体が転がりおちたといわれ、室町前期の作です。

**寝仏** 道ばたのなげない石の裏側に、大日如来が横に刻まれています。ちかくの四方仏の一体が転がりおちたといわれ、室町前期の作です。



★は近鉄あみま倶楽部アプリのチェックポイントです。

- てくてくまつぶはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。
- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。
- 地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。

近鉄あみま倶楽部の情報はコチラ! →

- ハイキングのエチケット**
- \*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
  - \*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
  - \*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

●約12キロ [忍辱山バス停～滝坂の道(地獄谷)～近鉄奈良駅]

# 柳生街道(滝坂の道)コース

企画・発行=近畿日本鉄道(株)  
制作・印刷=(株)アド近鉄  
イラストマップ=トシ・アトリエ 瀬川俊朗  
※無断転写禁止。

きれいな思い出、きれいな自然  
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

